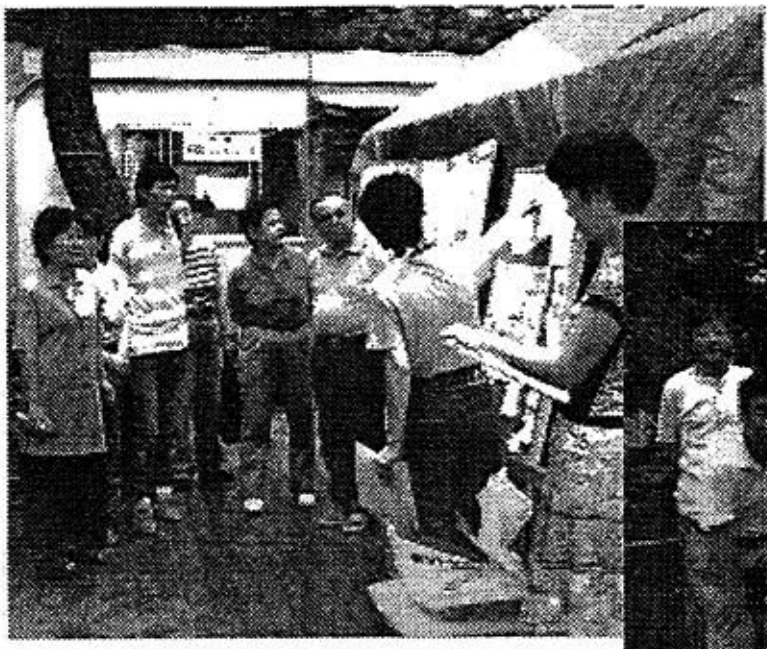
このニュースの**題名を募集**しています！

♧葉書、または電話で受付中！（下記まで）
♤〆切りは、７月２７日（土）
♡採用された方には、ステキな賞品を差し上げます！

96.6.20

**創刊号**

発行：東灘・地域助け合いネットワーク
〒658　神戸市東灘区住吉東町2-3-28　東灘区役所中庭事務所
TEL　078-843-4029　FAX　078-842-2907
e-mail　tasukeai@mxb.meshnet.or.jp



←今日のワークは通院２件と
お話し相手と・・
（毎日のミーティング風景）



ワークに行く前に、ハイ、パチリ→
（６月某日）

## 今月のトピックス（５月・６月）

●静岡県の農業高校生たち、仮設住宅に花・野菜の苗プレゼント
●全国から集まった鯉のぼりが住吉川や仮設住宅にひるがえる・・・・・・・★
●深江浜仮設で移送サービススタート。名称「小旅（こたび）サービス」・★
●国際ロータリークラブより義援金贈られる
●仮設空き部屋転用の魚崎第１、第２ふれあいセンターが開所・・・・★
●日本経済新聞社が「オルセー美術館展」へ仮設住民を無料招待
●ボランティア研修Ｂ講座開催。初の救急隊員による応急手当・介護について
●NWのプロモーションVTR制作準備にはいる
●第３回東灘区ふれあいセンター交流会の開催・・・・・・・・・・・・・・★
●NWこれからの方向性について各会議で積極的に検討はじめる・・・・★
●会計監査に専門家の桝本氏をお迎え
●NWで２番目のボランティアカップル、一見夫妻誕生・・・・・・・★
●合化労連、情報労連にボランティア活動推奨の講座

# はじめまして

# 東灘・地域助け合いネットワークです

***東灘・地域助け合いネットワークって、どんな団体ですか？***

去年の震災直後の２月から活動を始めたボランティア・グループです。



***どんな人がボランティア活動をしているんですか？***

平日は、学生、主婦、退職した男性などで、やはり主婦が多いです。土曜日はお休みのサラリーマンが増えます。年齢も１８歳から７８歳ととても幅が広いんです。毎日２５名前後、東灘区内の方は５割くらいで、あとは県内や、大阪、京都などから通ってきています。

***どんな活動をしてきたのですか？***

震災直後はやっぱり水汲みや荷物の取りだし、安否確認などが多かったですね。４月になって仮設住宅の入居が始まると、引っ越しのお手伝いが増え、巡回訪問に毎日出かけていました。そしてお話し相手や家事手伝い、荷物整理などいろいろなことをしてきました。

現在の活動は、大きく分けて次の二つです。「暮らしのお手伝い」は、主に高齢者の方の買物代行や薬取り、通院送迎・介助、お話し相手などです。そして茶話やかテントやふれあいサロン、ふれあいセンターのお手伝いが「コミュニティ支援活動」です。

***このニュースを出すことでなにを発信していきたいですか？***

震災から１年以上がすぎ、東灘・地域助け合いネットワークは、被災地の復興支援から新しい街づくりのために様々なプロジェクトをおこしていきたいと考えています。そういった活動を多くの人に伝え、地域ニーズの発見と、活動に参加される地元のボランティアがもっと増えて欲しいという思いで、このニュース（名前はまだついていません）を発行していきます。

⇨ ボランティアの活動を内容別に集計した件数を月ごとにまとめています。

| 1995～96 サービス内容 | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 家事 | 掃除・調理等 | 58 | 56 | 73 | 73 | 58 | 40 | 51 | 54 |
| 介護 | 介護一般・話し相手・様子伺い等 | 131 | 90 | 79 | 104 | 216 | 280 | 386 | 241 |
| 移送 | 車による通院・外出介助等 | 17 | 23 | 18 | 57 | 36 | 51 | 45 | 45 |
| | 車による引越・荷物運搬等 | 43 | 44 | 23 | 24 | 67 | 33 | 32 | 43 |
| 住宅設備改善 | 大工仕事・修理等 | 97 | 10 | 6 | 11 | 7 | 3 | 5 | 7 |
| その他 | 室内での荷物運び・移動・その他 | 13 | 3 | 13 | 3 | 0 | 5 | 13 | 7 |
| ふれあいセンター | | 15 | 31 | 36 | 35 | 27 | 39 | 43 | 54 |
| 茶話やかテント | | 5 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 8 | 6 |
| ふれあいサロン | | 0 | 1 | 2 | 4 | 4 | 4 | 7 | 7 |
| 心のオアシス | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 |
| その他のイベント | | 2 | 3 | 4 | 0 | 2 | 5 | 3 | 2 |
| サービス件数 | | 382 | 265 | 258 | 314 | 421 | 467 | 594 | 467 |
| 一日平均サービス件数 | | 12 | 9 | 10 | 10 | 15 | 15 | 20 | 16 |
| 参加ボランティア総数 | | 711 | 732 | 652 | 562 | 701 | 720 | 708 | 613 |
| 一日平均ボランティア数 | | 23 | 24 | 24 | 23 | 24 | 23 | 24 | 20 |

本庄仮設にて
鯉のぼり設営体験

# おにいちゃん 落ちなや

鯉のぼりが仮設住宅地内の砂利の上に一斉に並べられた。１０m級から順に大小をそろえられ、色組みされた鯉。それらのうちの１０匹が１本のロープにつながれた。

「大きい鯉やねぇ、綺麗やねぇ、立派やなぁ。」

皆さん思い思いの感想と共に、本庄の方々にも手伝って頂きました。ありがとうございました。ボランティアの高橋クンが仮設入り口の野球場フェンスをつたって上へ上へ。恐くないのか？彼を見上げながら、その身軽さになぜか安心する。

ロープの一端を引き上げる。重い。

彼の腕の力と足の踏ん張りが、彼の体のバランスを保つ。仮設の屋根を一望できる高さに彼はいる。

「危ないから気ぃつけや、おにいちゃん、落ちたらえらいこっちゃでぇ。」

首を大きく上に傾けてのかけ声に、上の彼は無言のまま。

そして、彼の一言、「めっちゃこわい」

やっぱり！俺も下から見てて恐い。自然の強い風が鯉を一斉に泳がせた。

**復興の元気シンボルを！！**

たすけあいNW（東灘、中央、須磨、西宮）の所在地に思いきり元気良く鯉を揚げよう。新聞ラジオ、インターネットあらゆる媒体を通じ、全国から800匹余の鯉コイこい。あまりにも気持ちのよさそうな遊泳に来年も、との声しきりでした。

～住吉川にも1ヵ月間泳ぎました～



鯉の尻尾が仮設住宅の屋根にかかるほど大きくなびく。

ロープを引っ張る手に、増してずっしりとした重みが伝わった。

被災された方々に少しでも励ましになればとの想いで、ここ神戸に鯉のぼりを立てようと始まった企画。

鯉を提供してくださいとの神戸からの呼びかけに全国の皆様が答えてくださいました。

本当にありがとうございました。

神戸を想い、全国から送られて来た鯉のもとで力強く、生命力にあふれて、仮設に住む方々が元気に生活されることを願って。

ボランティア　松村　一史

## NWこれからの方向性について

水汲みから地域ケアへと、この１年４ヶ月、NWのメンバーは刻々と変化する地域ニーズに機敏に応え着実な評価を得てきました。結果、諸団体より事業の申し入れが相次ぎ、NWの使命＜オープンコミュニティの創造＞をどう達成するのか、提案の検討と合わせ組織の分離分割も含めた大胆な論議を、リーダー会、常任幹事会、研修会等を通じ、精力的に行っていきます。

## 小旅（こたび）サービス

### 深江浜仮設で移送サービス

陸の孤島、深江浜仮設で外出困難な高齢者と毎週火曜日、周辺のスーパーへ買物に出かけます。現在７人のメンバーが利用し、ドライバーの安田芳三さんは乗降から買物付添いまで手とり足とりのサービス。こんなにもてたのは６０年来初めてだとか……。

## 空部屋転用のミニふれあいセンター開所

ふれあいセンターのない小規模仮設で、空部屋を住民の交流場所として使えないものか。以前から住民や私たちは行政に要望していたところ転用 OK の結論。さっそく現地の調整作業に入り、５月に魚崎第１仮設でかわいいセンターがオープンしました。

# 7月のネットワーク・カレンダー

# July/1996

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1<br>♡NWリーダー交流会 | 2<br>♤尼崎市役所／打合せ<br>♤消防署広報“ゆき”取材 | 3<br>♤東京都庁ヒアリング | 4<br>▲茶話テン（福井池仮設）<br>♡ふれサロ・ミーティング<br>♡本庄仮設運営委員会 | 5<br>♡神戸中央・助け合いスタッフ会議 | 6 | 7<br>♧ハーバーランド・フォーラム（ＪＣ主催） |
| 8<br> | 9<br>◆ふれサロ（田中医院）<br>♤多紀郡社協／打合せ | 10<br>♡県社協 | 11<br>▲茶話テン（磯島仮設）<br>◆ふれサロ（川島クリニック）<br>♤NWプロモーションビデオ現場撮影 | 12<br>♡東灘区ボランティア連絡会<br>♡第27回常任幹事会 | 13<br>♡サントリー労組との懇親会 | 14<br> |
| 15<br>▲茶話テン（北青木仮設）<br>♡瀬戸仮設運営委員会 | 16<br>◆ふれサロ（河原医院）<br>♤ふれサロＶＴＲ制作<br>◇市民団体の災害協定案づくり | 17<br>◆ふれサロ（深山医院） | 18<br> | 19<br>♡東灘区地域ケアネットワーク会議 | 20<br>♧さわやか財団リーダー研修会（仙台） | 21<br>♧グループ“それいゆ”講師 |
| 22<br>◇全労済／第２回生活支援研究会 | 23<br>▲茶話テン（川井仮設）<br>♡市民・連合ボランティアNW代表者会議 | 24<br>◆ふれサロ（有光医院）<br>♧解散会／これからのボランティア | 25<br>◆ふれサロ（宮地クリニック） | 26<br>◆ふれサロ（羽間医院） | 27<br>★助け合いネットワーク合同ボランティア同窓会バーベキュー大会 | 28 |
| 29 | 30<br>♡尼崎園田地区民生委員との講演打合せ | 31<br>▲茶話テン（御影仮設） | | |  | |

マーク見方

▲ 茶話やかテント（午前11時～午後12時30分）
地域型仮設にテントをもっていき、お茶菓子を食べながらおしゃべりしたり、体操で体ほぐし心ほぐしもしています。
ご近所のかたも、気軽に参加を！

◆ ふれあいサロン（午後２時～３時30分）
お医者さんの待合室などを借りて、先生の一口健康講座や音楽、簡単な遊びなどしています。お誘い合わせてどうぞ！

♧ 講師・パネラー
♡ 会議
♤ 取材・来訪者
◇ 支援協力事業

▲茶話やかテント
◆ふれあいサロン
にぜひ参加を！（ボランティア）

☎ 843－4029へ

## 情報 クロス

あげます、ください、
その他、様々な情報交換
の場です。ぜひご利用を！
☎078－843－4029まで

## やります

◆暑さをぶっ飛ばせ！
大バーベキュー大会！！
ボランティア同窓会／各地・助け合いネットワーク合同／参加大歓迎（申込み7月25日事務局まで）
日時　7月27日（土）12時～15時
場所　「ネットワーク」中庭
会費 1,000円

◆あなたもスターに！
「ネットワーク」のプロモーション・ビデオの撮影をします／あなたも出てください
日時　7月11日（木）9時30分～

## 求めます

◆アイロン台（仮設住民の方より）
◆電気スタンド（　〃　）
◆衣類・・上にはおる木綿のワイシャツ、ジャケット類
Lかししサイズ、男物でも可（６０代女性の方より）
◆掃除機（浜公園ふれあいセンターより）
◆パッチワーク用木綿生地、手芸用毛糸
（六甲アイランド 第3ふれあいセンターで手芸に使います）
◆電動ミシン（　〃　）




## 第3回東灘区ふれあいセンター交流会の開催

―― 瀬戸ふれあいセンター近況 ――

１９９６年５月３０日、木曜日、瀬戸ふれあいセンターで、第３回東灘区ふれあいセンター交流会が開催されました。各ふれあいセンターの代表者、行政、警察、地域助けあいネットワークの人々で各々のセンターにおける運営に関する情報交換、問題点などの意見を交しました。

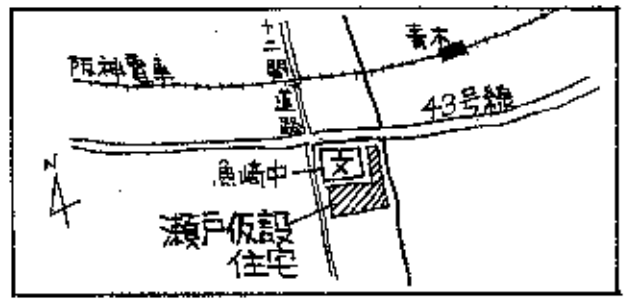
昨年８月、瀬戸ふれあいセンターに東灘区で初めてのふれあいセンターが開所してから１０ヶ月あまりになります。そして、現在１５ヵ所のふれあいセンターができ、地域コミュニティづくりに努力しています。

瀬戸ふれあいセンターの場合も、脇山会長をはじめ１２名の役員の方がおられ月曜日から金曜日の朝１０時から午後４時まで当番制でセンターにつめておられます。色々な団体、グループからのイベントの紹介、支援物資の配布情報の伝達などについて検討・打ち合わせをし、適切なかたちで住民に伝えています。サークルとしては、写経、折り紙、書道、川柳、カラオケ、手芸、編物、踊り、太極拳があり、毎月熱心に参加されています。今年３月にはその成果として第１回サークル活動発表会が盛大に行われました。住民の方も多数参加し、大いに楽しまれ大成功に終わりました。

いま、ふれあいセンターでは定期的な茶話会の開催が始められています。そして住民がどういう形のイベントを希望しているかを意見聴取し、新しい企画を考えているところです。

これからも、瀬戸ふれあいセンターは地域交流の場として、コミュニティ作りのための活動に取り組んでいきたいと考えています。

（瀬戸仮設担当 Vr 佐野清）



# どんなヒト こんなト

いろんな人が登場するコーナーです。
今月はボランティアですが、
さて、来月は。。？




No.426



①島敦子（しまあつこ）
②６０才代
③東灘区青木在住
④95/3/29 登録
⑤深江浜仮設住宅の担当として当初からいろいろな活動のお手伝いをされています。
⑥１５年前から続けている点訳、老人ホームでおむつたたみをしていたこともあり震災以前から積極的にボランティア活動をされていました。
「自分が楽しいからボランティアはずっと続けていきたい。震災を機にいままであまり関心のなかったお父さん（夫）も応援してくれるようになりました。」（本人談）

No. 405



①佐藤巌
（さとういわお）
②７０才代
③東灘区西岡本在住
④95/3/27 登録
⑤車による利用者の通院・外出の送迎、またボランティアの現場への足として活動。
⑥「ボランティアに行くようになる前は、仕事を辞め毎日家で退屈そうでした。でも、今は "今日はこんな所に行ってこんな人に会った。こんな事をした”と楽しそうに話してくれます。」（奥様談）

## 話のぼけっと

こちふかば思い起こせよ梅ノ花
あるじなきとて春な忘れそ

福岡太宰府にとばされた菅原道真が遠い京の都を思い詠んだ有名なうたです。

昨年の今ごろ、がれきを片付けた後の庭で、あじさいの花がまるで留守を守るかのように咲いているのを目にしました。そして、今年は家が建て直され、あるじが帰ってきたのを喜ぶように誇らしげに大きな水色の花を咲かせています。

あじさいは神戸市の花です。

（ボランティア　上村光代）

## 編集後記

●こわーい食中毒！　上等の刺身とハンバーグが一番の敵デス（村山）
●夜討ち朝駆け Fax 留守電 e-mail（上村）
●担当記事がいきなりとんでしまった、創刊号で。よろしく！（松村）
●もっとメモリが欲しい。（竹内）
●新しいものを創りだす“産みの苦しみ”を早く“楽しみ”にしたい（原）